

スポーツに関する
市民意識調査報告書
概要版

令和4年3月

新 潟 市

文化スポーツ部 スポーツ振興課

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の項目	2
3. 調査の設計	2
4. 集計・分析にあたって	2
5. 回収結果	3
6. 回答者の特性	4
II 実施結果	5
1. この1年間の運動やスポーツの実施状況について	6
(1) 運動やスポーツの実施の有無	6
(2) 実際に行った運動やスポーツ	7
(3) 運動やスポーツを行った年間日数	10
(4) 運動やスポーツを行う理由	12
(5) 運動やスポーツの1回の平均実施時間	14
(6) 運動やスポーツの実施状況に対する満足度	15
(7) 運動やスポーツを行った場所	16
(8) 運動やスポーツを行った相手	17
(9) 運動やスポーツを行っていない、または行った日数が少ない理由	19
2. スポーツ観戦について	21
(1) この1年間のスポーツ観戦の有無	21
(2) この1年間に観戦したスポーツ種目	22
(3) スポーツ観戦した理由	24
3. 運動、スポーツに関するボランティア活動について	26
(1) この1年間のスポーツに関するボランティア活動への参加有無	26
(2) 行ったボランティア活動について	27
(3) この1年間のスポーツに関するボランティア活動の内容	28
(4) スポーツに関するボランティア活動を行うきっかけや動機づけ	29
4. やってみたい運動やスポーツについて	30
(1) 今後行ってみたい運動やスポーツの有無	30
(2) 今後行ってみたい運動やスポーツ	31
5. 今後の新潟市のスポーツ振興について	34
(1) スポーツ振興に関する基本計画「スポ柳都にいがた」プランについて	34
(2) 現在の頻度以上に運動やスポーツの実施に必要なこと	35

- (3) 働き盛り・子育て世代への運動やスポーツの機会づくり ……37
- (4) スポーツの普及・振興のために力をいれてほしいこと ……38
- (5) スポーツの振興に関する取組で期待すること ……40

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民のスポーツの実施状況や考え、要望などを把握し、今後のスポーツ振興施策の参考資料とするために実施する。

2. 調査の項目

- (1) 対象者属性
- (2) この1年間の運動やスポーツの実施状況について
- (3) スポーツ観戦について
- (4) 運動、スポーツに関するボランティア活動について
- (5) やってみたい運動やスポーツについて
- (6) 今後の新潟市のスポーツ振興について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和3年10月31日現在の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法
- (6) 調査期間：令和3年11月26日～12月13日
（令和4年1月7日到着分までを集計に含めた）

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
また、本文中の前回調査とは、平成26年度に実施した調査のことである。

5. 回収結果

(1) 回収結果

総回収数=1,906件(回収率=47.7%)、

有効回収数(全て白票回答等を除外した集計対象数)=1,902件(有効回収率=47.6%)。

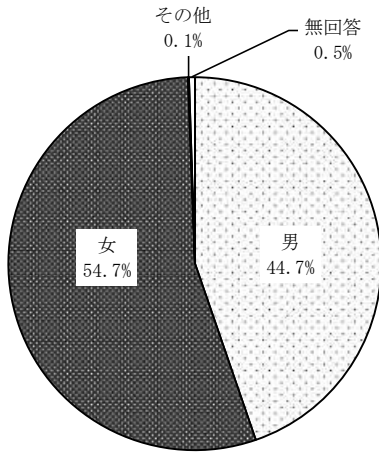
区毎の回収結果は下表のとおりである。

※母集団は、令和3年10月末現在20歳以上

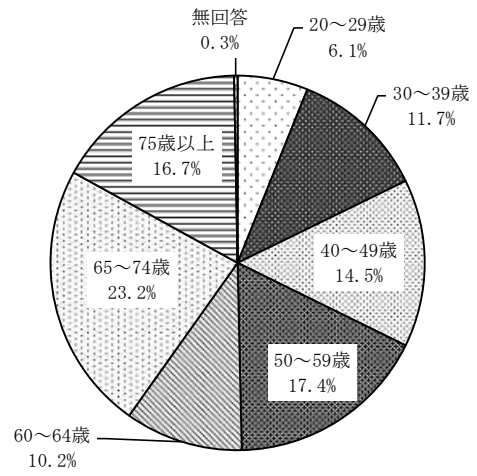
	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回答数	有効 回答率
市全体	654,254	100.0%	4,000	1,902	47.7%
北区	60,817	9.3%	364	159	43.7%
東区	113,174	17.3%	702	331	47.2%
中央区	147,320	22.5%	903	446	49.4%
江南区	56,415	8.6%	352	167	47.4%
秋葉区	63,361	9.7%	386	189	49.0%
南区	36,801	5.6%	220	92	41.8%
西区	129,226	19.8%	790	381	48.2%
西蒲区	47,140	7.2%	283	132	46.6%
区名無回答				5	

6. 回答者の特性

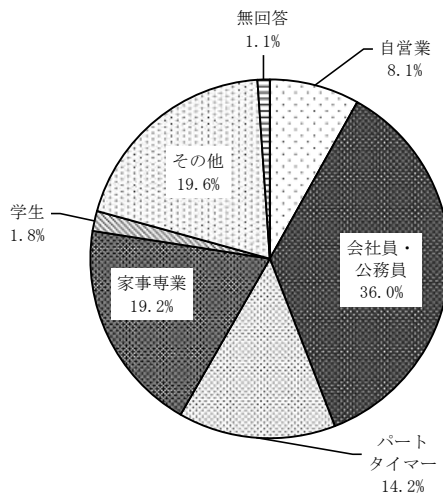
◆性別



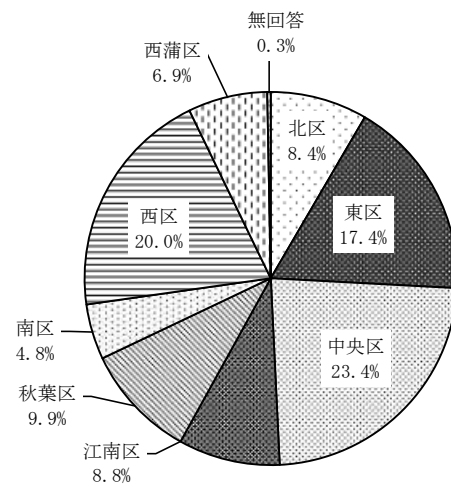
◆年齢別



◆職業別



◆地区別



Ⅱ 実 施 結 果

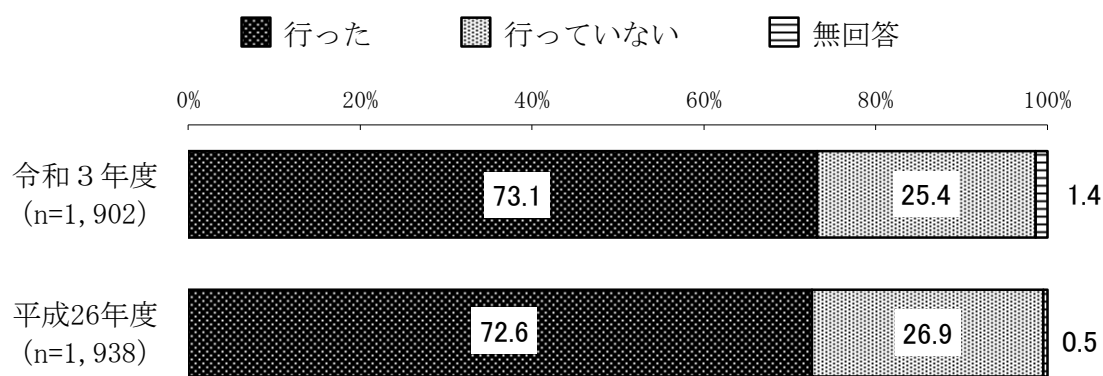
1. この1年間の運動やスポーツの実施状況について

(1) 運動やスポーツの実施の有無

問5 この1年間にどのような運動やスポーツを行いましたか。(〇は1つだけ)

※運動やスポーツには、散歩やラジオ体操などの軽い体操、自転車での通勤も含みます。

(学校の授業や職業として行ったものは除きます。)



7割以上が運動やスポーツを実施している

【全体結果】

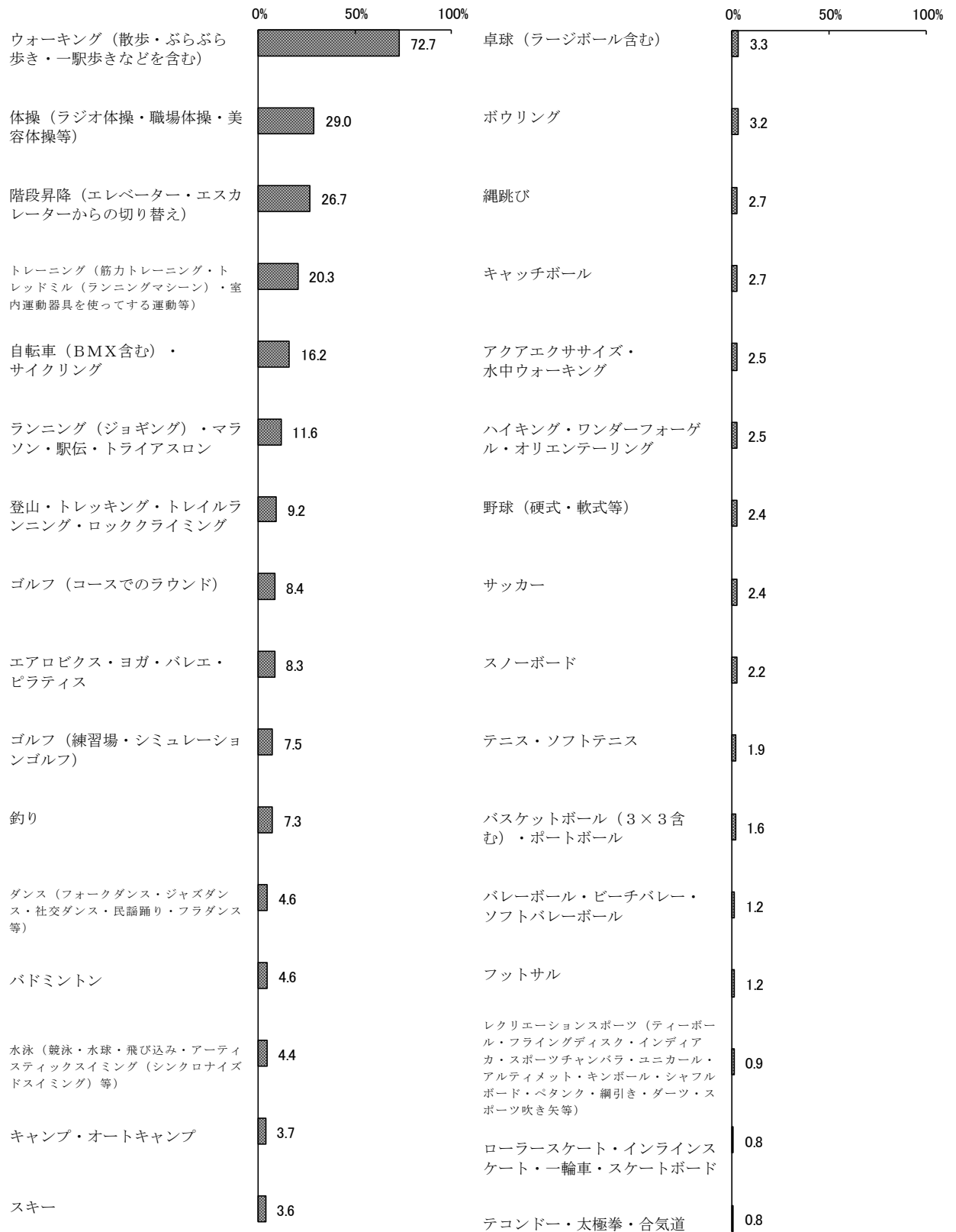
この1年間に運動やスポーツを行ったかどうかについては、7割以上の人々が「行った」(73.1%)と回答している。

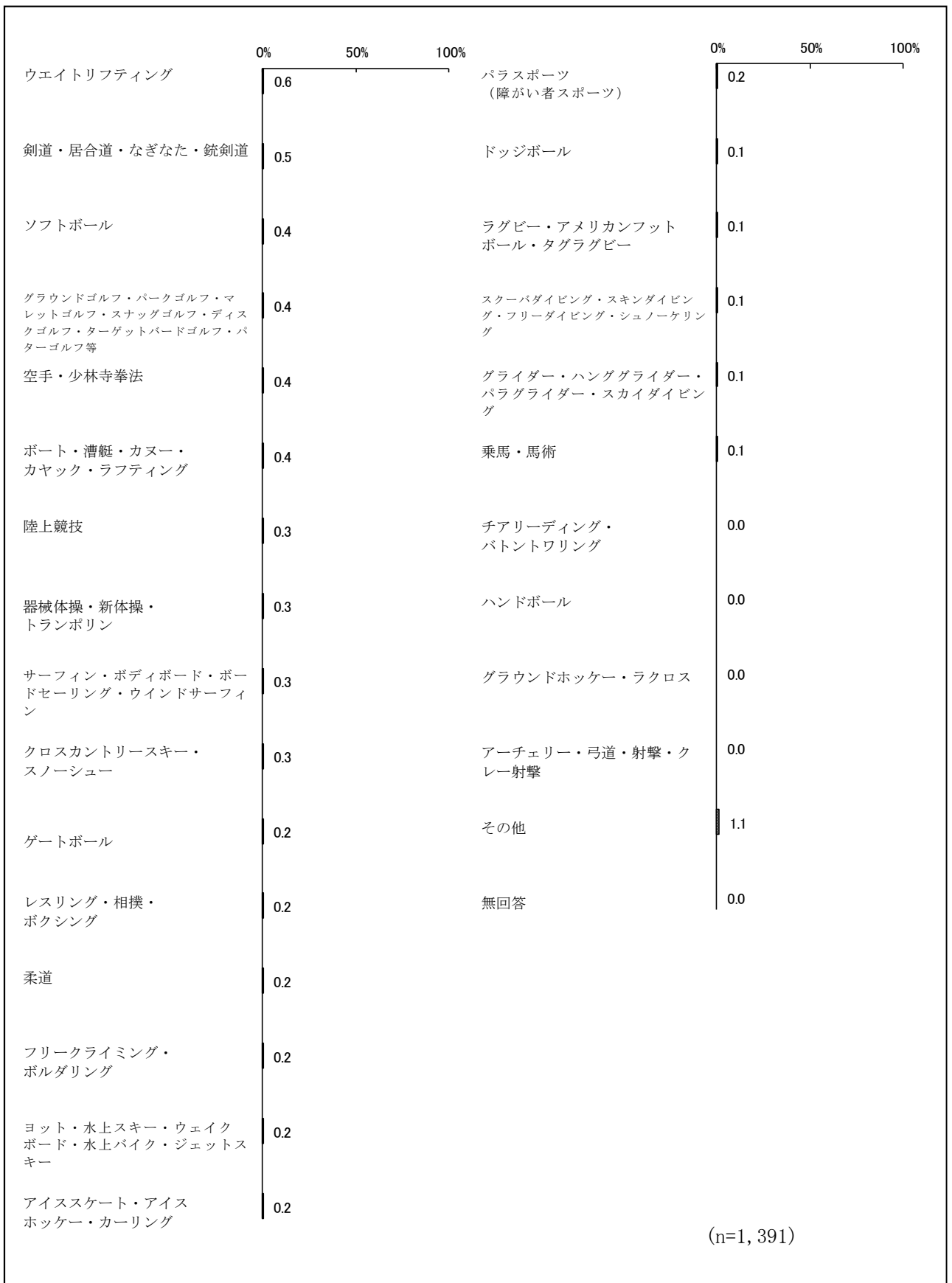
前回調査と比較すると、ほとんど差は見られない。

(2) 実際に行った運動やスポーツ

(問5で「2 行った」と回答した方への該当質問)

問5-補問 行ったスポーツに○をつけてください。(○はいくつでも)





7割以上が「ウォーキング」を行っている

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」と回答した 1,391 人に対する質問である。

【全体結果】

この1年間に行った運動やスポーツについては、「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)」(72.7%)の割合が最も高くなっている。

以下、「体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)」(29.0%)、「階段昇降(エレベーター・エスカレーターからの切り替え)」(26.7%)、「トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)」(20.3%)が続いている。

前回調査と今回調査では回答の選択肢が異なるため、表のみの掲載に留める。

順位	平成26年度項目	令和3年度項目	順位の変動
1位	ウォーキング(意識的に歩くようにしていること、散歩などを含む)	ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	→
2位	体操(ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む)	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	→
3位	サイクリング(自転車通勤や買物を含む)、モーター(サイクル)スポーツ	階段昇降(エレベーター・エスカレーターからの切り替え)〈H26:その他、軽い運動やスポーツとの比較〉	↗
4位	軽い球技(キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど)	トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)	↗
5位	室内運動器具を使ってする運動	自転車(BMX含む)・サイクリング	↘
6位	ランニング(ジョギング)	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝・トライアスロン	→
7位	軽い水泳	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	↗
8位	ゴルフ	ゴルフ(コースでのラウンド)	→
9位	その他、軽い運動やスポーツ	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス 〈H26:その他、軽い運動やスポーツとの比較〉	→
10位	スキー、スノーボード	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	↘

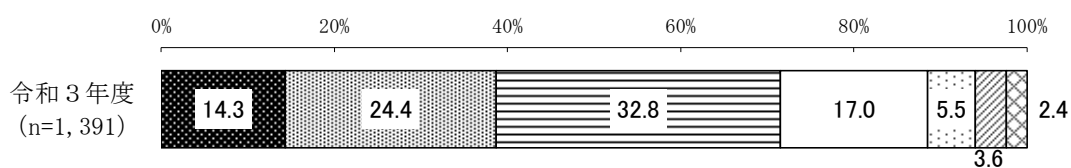
(3) 運動やスポーツを行った年間日数

(問5で「2 行った」と回答した方への該当質問)

問6 その運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。

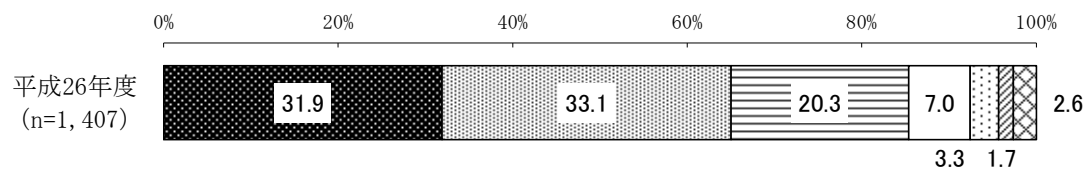
(○は1つだけ)

- 週に5日以上 (年間251日以上) ▨ 週に3日～4日 (年間151日～250日)
- ▨ 週に1日～2日 (年間51日～150日) □ 月に1日～3日 (年間12日～50日)
- ▩ 3ヶ月に1～2日 (年間4日～11日) ▧ 年に1～3日
- ⊠ 無回答



《参考:前回調査》

- 週に3日以上 (年間151日以上) ▨ 週に1日～2日 (年間51日～150日)
- ▨ 月に1日～3日 (年12日～50日) □ 3ヶ月に1～2日 (年間4日～11日)
- ▩ 年に1～3日 ▧ わからない
- ⊠ 無回答



7割以上は『週に1日以上』行っている

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」と回答した1,391人に対する質問である。

【全体結果】

運動やスポーツを行った年間日数については、「週に1日～2日（年間51日～150日）」（32.8%）と回答した人が最も多く、これに「週に5日以上（年間251日以上）」（14.3%）、「週に3日～4日（年間151日～250日）」（24.4%）を合わせると71.5%となり、7割以上の方が運動やスポーツを『週に1日以上』行っている。

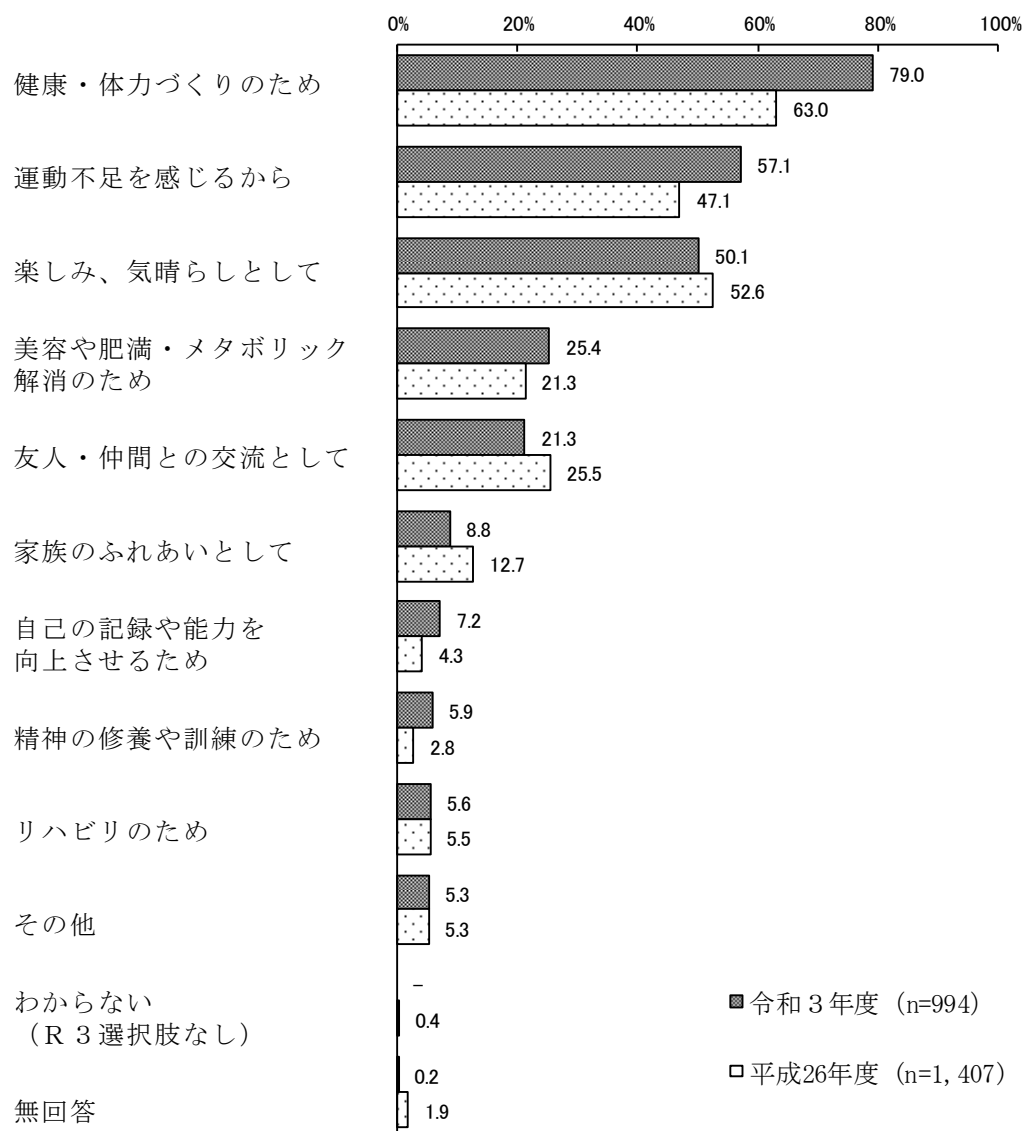
前回調査と比較すると、「週に3日以上（年間151日以上）」（31.9%）と「週に1日～2日（年間51日～150日）」（33.1%）を合わせると65.0%となり、『週に1日以上』行っている割合は増加している。

(4) 運動やスポーツを行う理由

(問5で「2 行った」及び問6で「1 週に5日以上(年間251日以上)」、「2 週に3日~4日(年間151日~250日)」、「3 週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した方への該当質問)

問7 あなたが運動やスポーツを行っているのはどのような理由からですか。

(○はいくつでも)



約8割が「健康・体力づくりのため」に行っている

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」及び問6で「週に5日以上（年間251日以上）」、「週に3日～4日（年間151日～250日）」、「週に1日～2日（年間51日～150日）」と回答した994人に対する質問である。

【全体結果】

運動やスポーツを行う理由については、「健康・体力づくりのため」(79.0%)が最も高く、以下、「運動不足を感じるから」(57.1%)、「楽しみ、気晴らしとして」(50.1%)、「美容や肥満・メタボリック解消のため」(25.4%)が続いている。

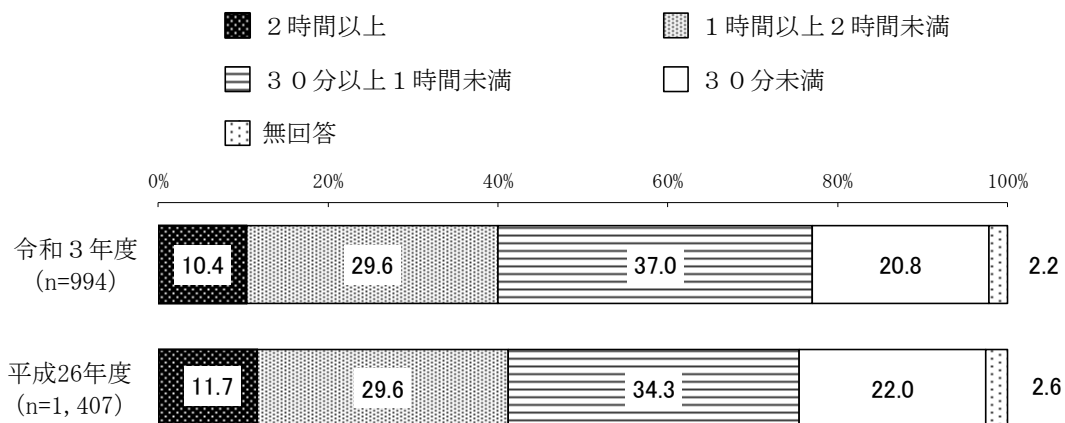
前回調査と比較すると、「健康・体力づくりのため」と「運動不足を感じるから」は1割以上増加し、「美容や肥満・メタボリック解消のため」の割合も増加している。

(5) 運動やスポーツの1回の平均実施時間

(問5で「2 行った」及び問6で「1 週に5日以上(年間251日以上)」、「2 週に3日~4日(年間151日~250日)」、「3 週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した方への該当質問)

問8 問6でお答えになった1回の運動やスポーツの実施時間は、平均するとどのくらいですか。

(○は1つだけ)



平均実施時間は「30分以上1時間未満」が最多

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」及び問6で「週に5日以上(年間251日以上)」、「週に3日~4日(年間151日~250日)」、「週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した994人に対する質問である。

【全体結果】

運動やスポーツの1回の平均実施時間については、「30分以上1時間未満」(37.0%)の割合が最も高く、以下、「1時間以上2時間未満」(29.6%)、「30分未満」(20.8%)、「2時間以上」(10.4%)の順となっている。

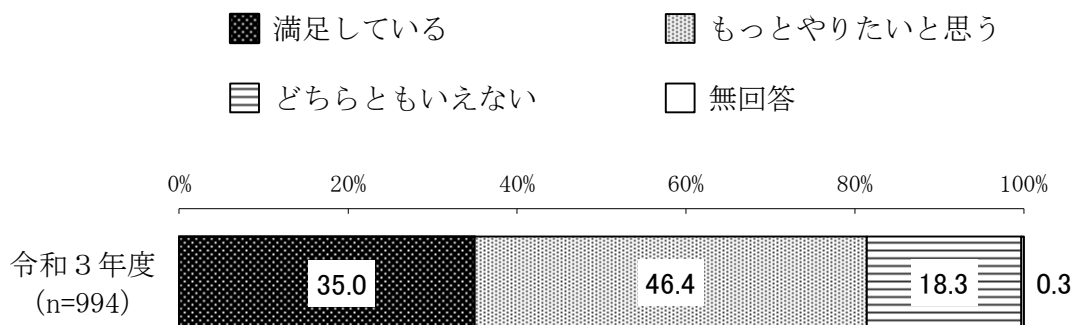
前回調査と比較すると、ほとんど差は見られない。

(6) 運動やスポーツの実施状況に対する満足度

(問5で「2 行った」及び問6で「1 週に5日以上(年間251日以上)」、「2 週に3日~4日(年間151日~250日)」、「3 週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した方への該当質問)

問9 あなたは、現在の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか。

(○は1つだけ)



実施状況に「もっとやりたいと思う」が最多

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」及び問6で「週に5日以上(年間251日以上)」、「週に3日~4日(年間151日~250日)」、「週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した994人に対する質問である。

【全体結果】

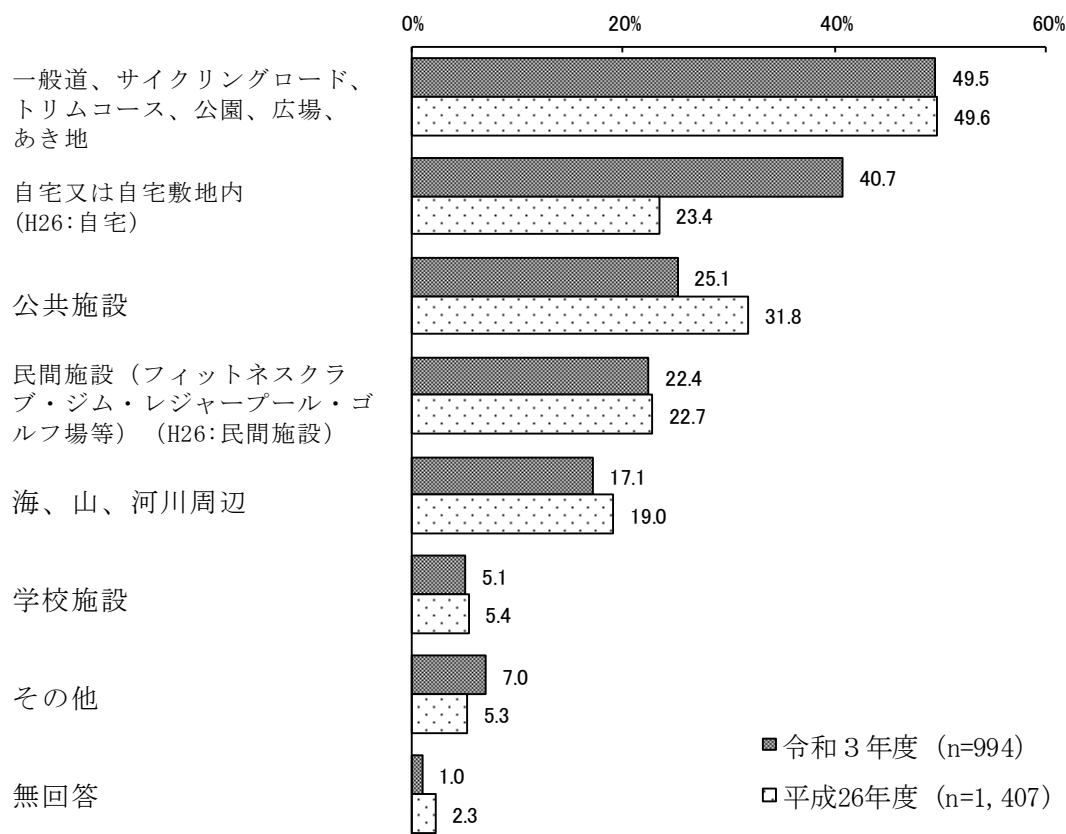
現在の運動・スポーツの実施頻度に満足しているかと聞いたところ、「もっとやりたいと思う」が46.4%で最も高く、「満足している」(35.0%)を上回っている。

(7) 運動やスポーツを行った場所

(問5で「2 行った」及び問6で「1 週に5日以上(年間251日以上)」、「2 週に3日~4日(年間151日~250日)」、「3 週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した方への該当質問)

問10 問5でお答えになった運動やスポーツは、主にどのような場所で行いましたか。

(○はいくつでも)



運動やスポーツの実施場所は「一般道、サイクリングロードなど」が約5割

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」及び問6で「週に5日以上(年間251日以上)」、「週に3日~4日(年間151日~250日)」、「週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した994人に対する質問である。

【全体結果】

運動やスポーツを行った場所については、「一般道、サイクリングロード、トリムコース、公園、広場、あき地」(49.5%)の割合が最も高く、以下、「自宅又は自宅敷地内」(40.7%)、「公共施設」(25.1%)、「民間施設(フィットネスクラブ・ジム・レジャープール・ゴルフ場等)」(22.4%)、「海、山、河川周辺」(17.1%)が続いている。

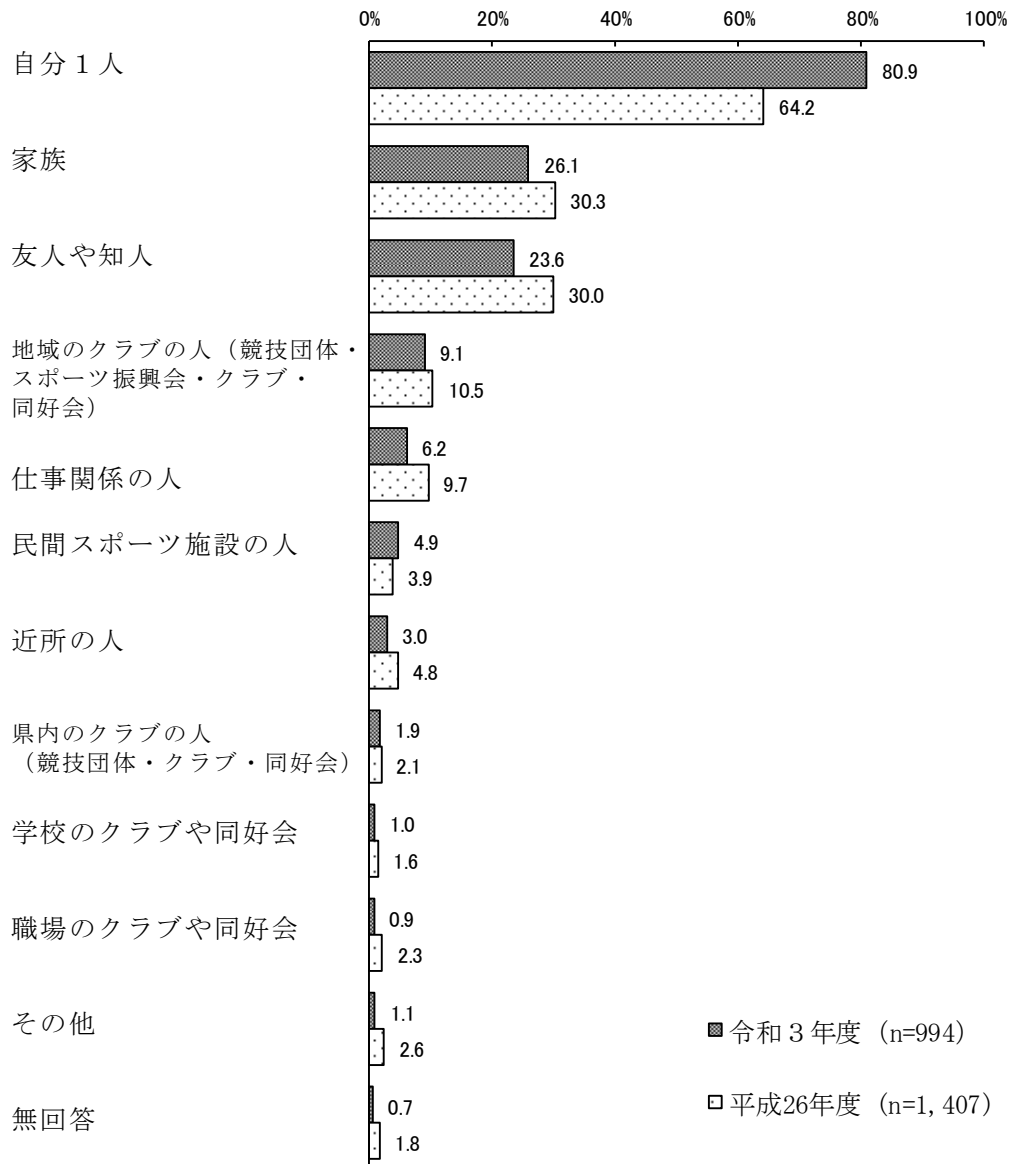
前回調査と比較すると、「自宅又は自宅敷地」の割合が増加して「公共施設」の割合が減少し、順位が逆転している。

(8) 運動やスポーツを行った相手

(問5で「2 行った」及び問6で「1 週に5日以上(年間251日以上)」、「2 週に3日~4日(年間151日~250日)」、「3 週に1日~2日(年間51日~150日)」と回答した方への該当質問)

問11 問5でお答えになった運動やスポーツは、主にどなたと行いましたか。

(○はいくつでも)



約8割が「自分1人」で行っている

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行った」及び問6で「週に5日以上（年間251日以上）」、「週に3日～4日（年間151日～250日）」、「週に1日～2日（年間51日～150日）」と回答した994人に対する質問である。

【全体結果】

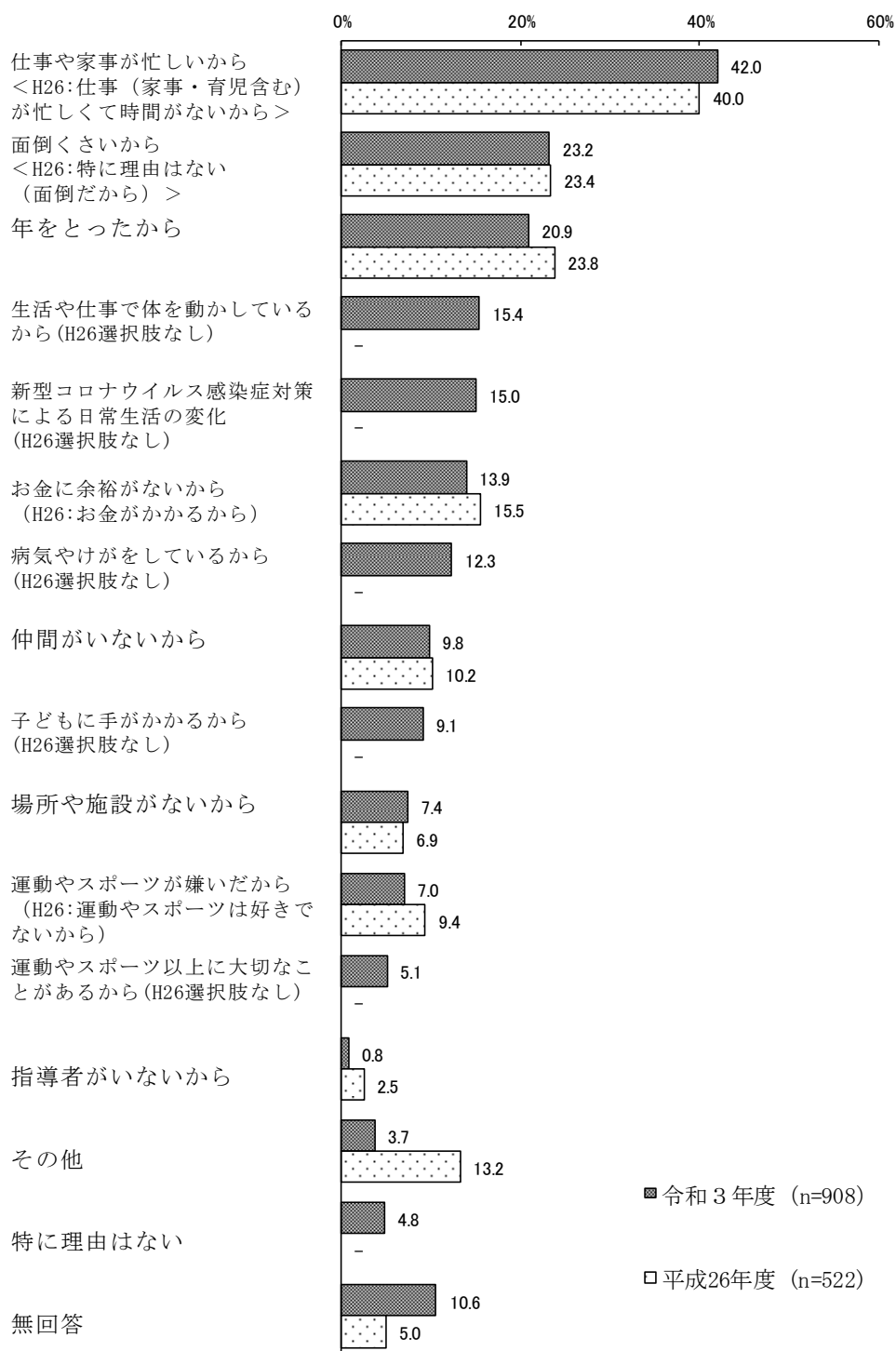
運動やスポーツを行った相手については、「自分1人」（80.9%）と回答した人が最も多く、以下「家族」（26.1%）、「友人や知人」（23.6%）が続いている。

前回調査と比較すると、「家族」、「友人や知人」の割合が減少し、「自分1人」の割合が増加している。

(9) 運動やスポーツを行っていない、または行った日数が少ない理由

(問5で「1 行っていない」及び問6で「4 月に1日～3日(年間12日～50日)」、「5 3ヶ月に1～2日(年間4日～11日)」、「6 年に1～3日」と回答した方への該当質問)
 問12 運動やスポーツを行っていない、または行った日数が少ない理由は何ですか。

(○はいくつでも) ≪H26: 運動やスポーツをまったくしなかった理由は何ですか。≫



——— 約4割が運動を行っていない理由は「仕事や家事が忙しいから」 ———

問5で、この1年間に運動やスポーツを「行っていない」及び問6で「月に1日～3日（年間12日～50日）」、「3ヶ月に1～2日（年間4日～11日）」、「年に1～3日」と回答した908人に対する質問である。

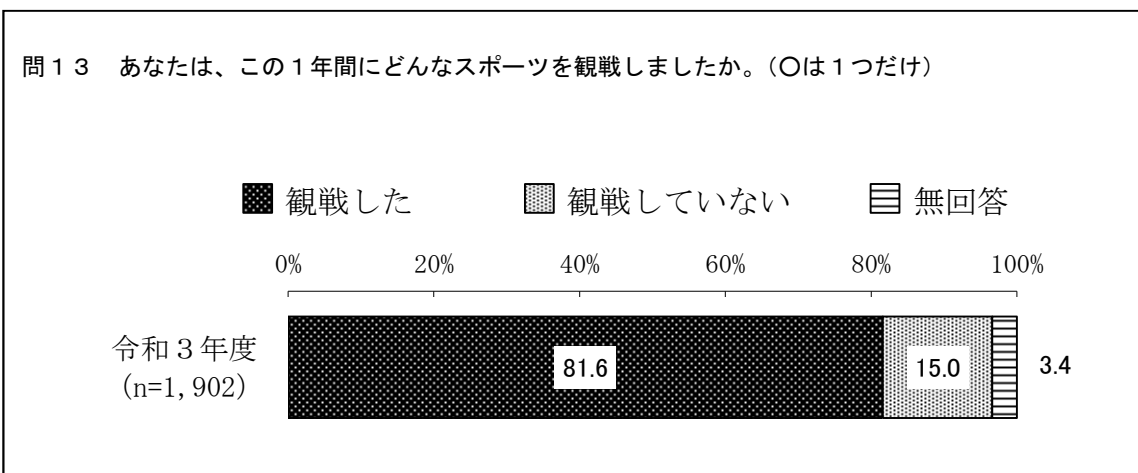
【全体結果】

運動やスポーツを行っていない、または行った日数が少ない理由については、「仕事や家事が忙しいから」（42.0%）を回答した人が最も多く、以下、「面倒くさいから」（23.2%）、「年をとったから」（20.9%）が続いている。

前回調査と比較すると、ほとんど差は見られない。

2. スポーツ観戦について

(1) この1年間のスポーツ観戦の有無



8割以上がスポーツを観戦した

【全体結果】

この1年間にスポーツを観戦したかどうかについては、8割以上の人々が「観戦した」(81.6%)と回答している。

(2) この1年間に観戦したスポーツ種目

(問13で「2 観戦した」と回答した方への該当質問)

問13-補問 観戦したスポーツに○をつけてください。(○はいくつでも)

※直接現地での観戦のほか、テレビやインターネットでの観戦のそれぞれにお答えください。

※東京オリンピック・パラリンピックで見た種目は、東京2020オリンピック・パラリンピック欄に回答して下さい。



約9割がテレビやインターネットで「東京2020オリンピック・パラリンピック」を観戦した

問13で、この1年間にスポーツを「観戦した」と回答した1,552人に対する質問である。

【全体結果】

この1年間に、[直接現地で]観戦したスポーツ種目を聞いたところ、「Jリーグ（J1、J2、J3）」の割合が39.6%と最も高く、以下、「高校野球」（14.1%）、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」（11.4%）が続いている。

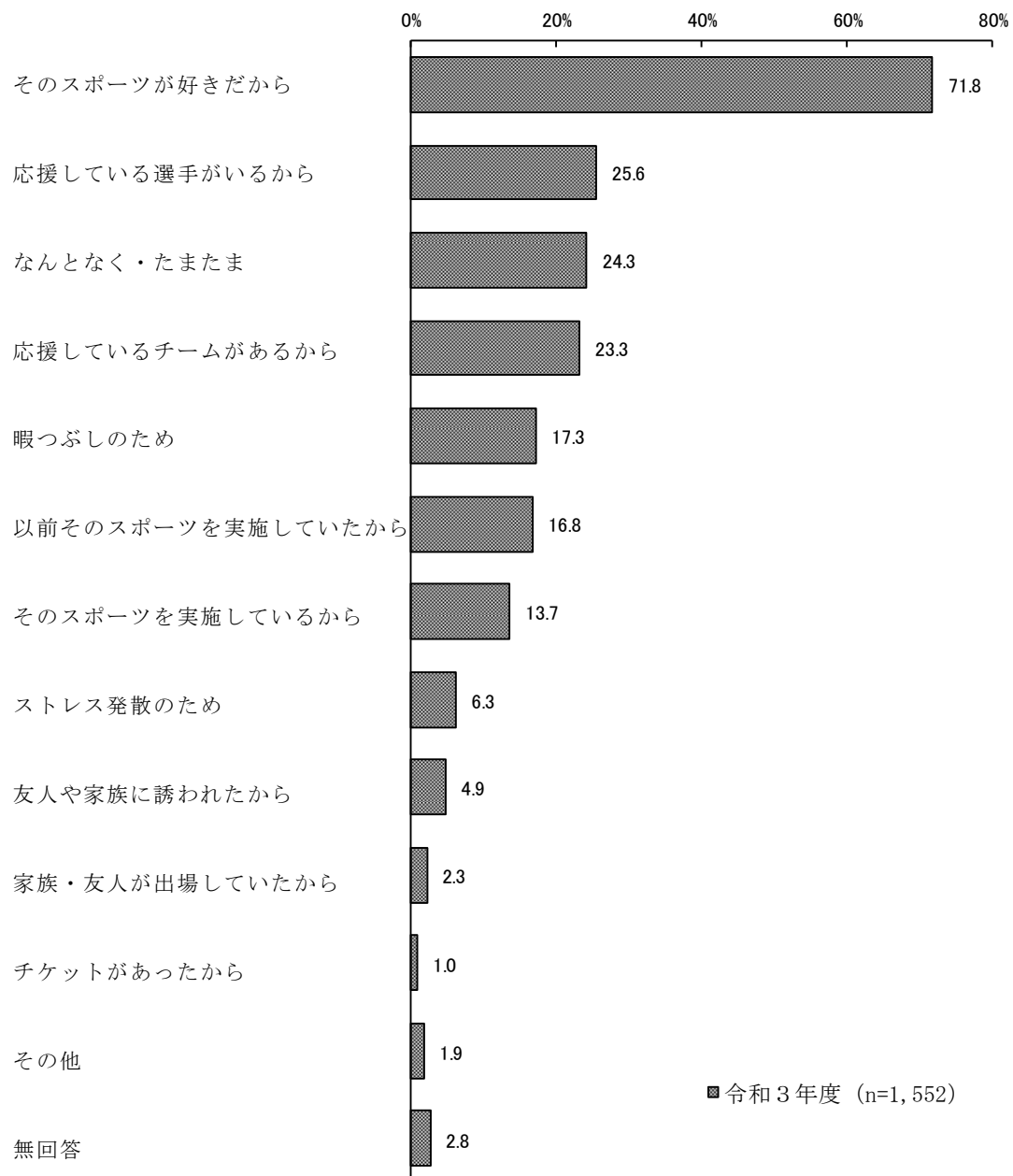
[テレビやインターネットで]観戦したスポーツ種目は「東京2020オリンピック・パラリンピック」（89.5%）が最も高く、以下、「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」（46.4%）、「マラソン、駅伝」（45.7%）、「高校野球」（43.1%）、「サッカー日本代表」（42.7%）、「大相撲」（41.8%）が続いている。

(3) スポーツ観戦した理由

(問13で「2 観戦した」と回答した方への該当質問)

問14 あなたがスポーツを観戦したのはどのような理由からですか。

(〇はいくつでも)



—約7割がスポーツを観戦した理由は「そのスポーツが好きだから」と回答—

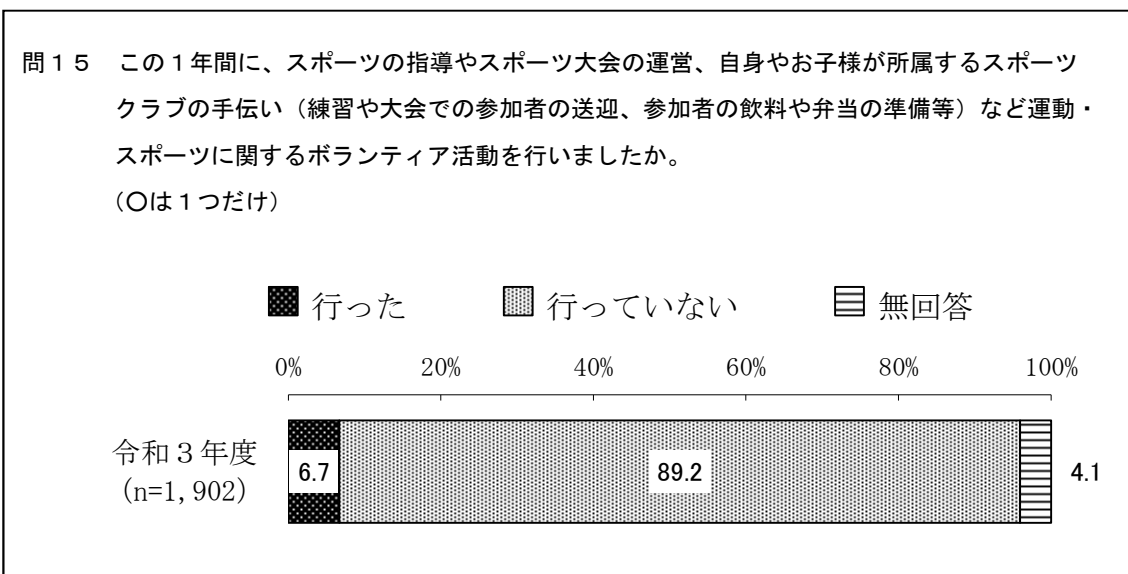
問13で、この1年間にスポーツを「観戦した」と回答した1,552人に対する質問である。

【全体結果】

スポーツ観戦した理由を聞いたところ、「そのスポーツが好きだから」の割合が71.8%で最も高く、以下、「応援している選手がいるから」(25.6%)、「なんとなく・たまたま」(24.3%)、「応援しているチームがあるから」(23.3%)が続いている。

3. 運動、スポーツに関するボランティア活動について

(1) この1年間のスポーツに関するボランティア活動への参加有無

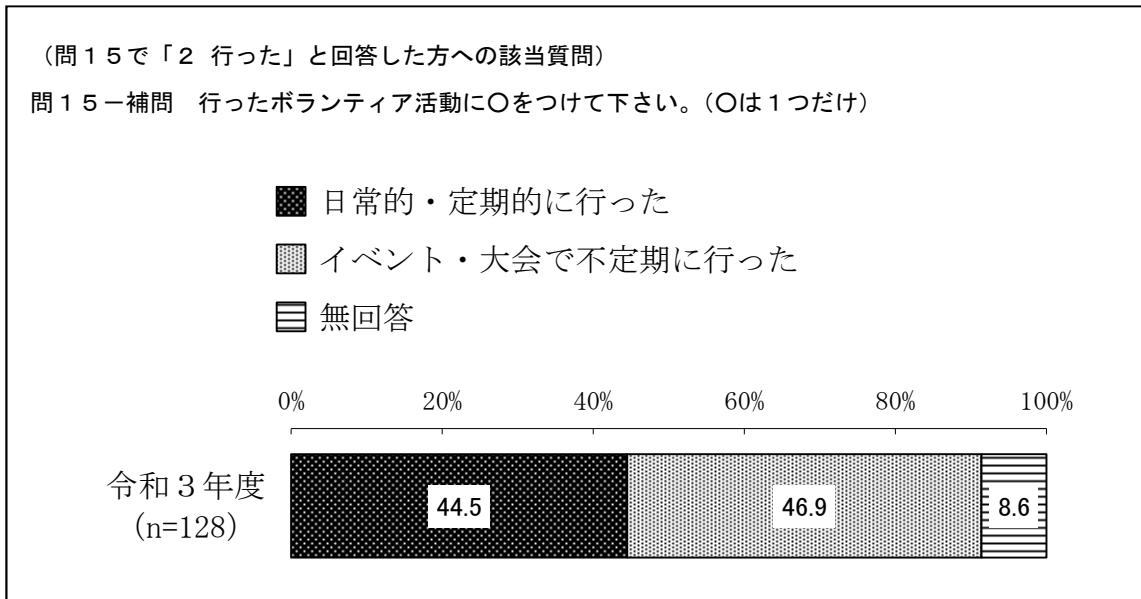


「ボランティアを行った」が1割未満

【全体結果】

この1年間のスポーツに関するボランティア活動を行ったかを聞いたところ、「ボランティア活動を行った」とする割合は6.7%、「行っていない」の割合は89.2%となっている。

(2) 行ったボランティア活動について



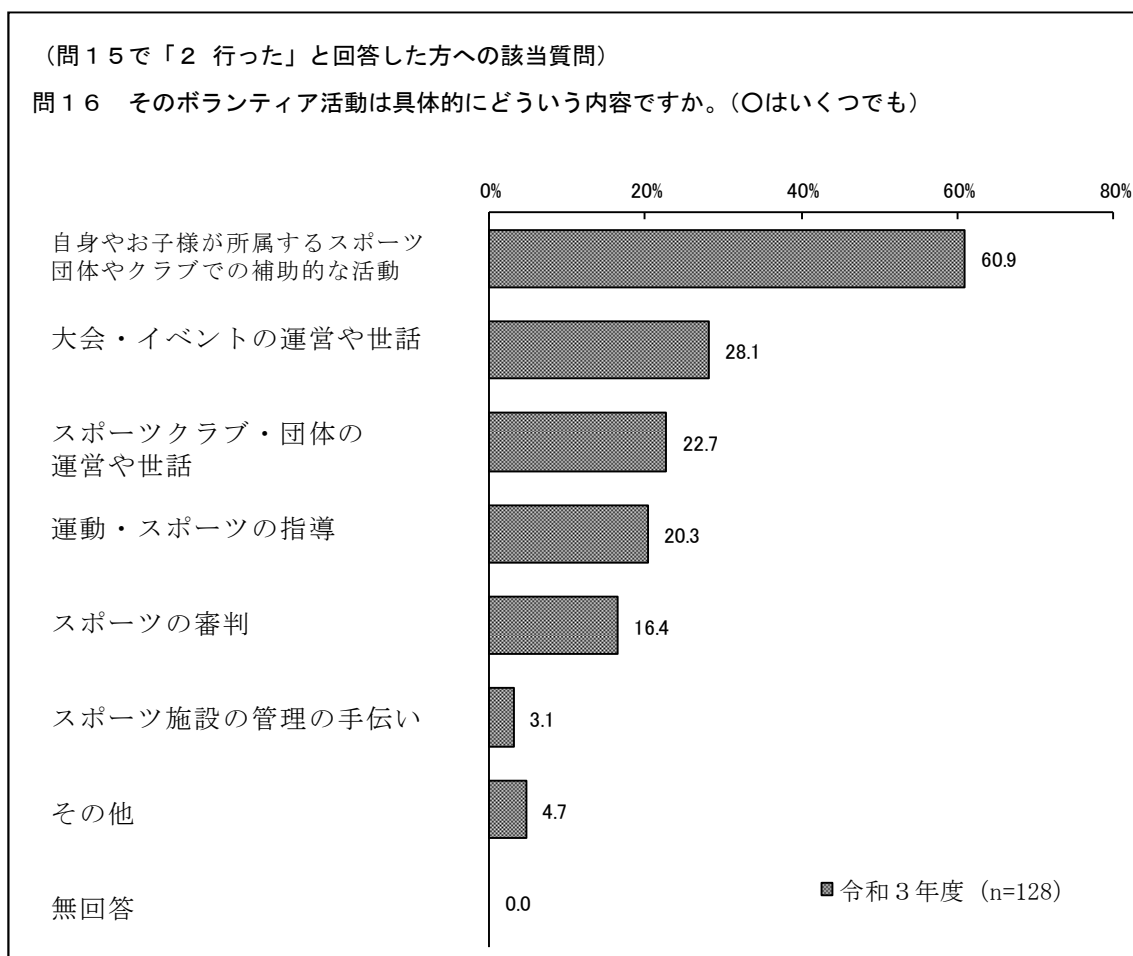
— 「日常的・定期的に行った」、「イベント・大会で不定期に行った」が半々

問15で、この1年間のスポーツに関するボランティア活動を「行った」と回答した128人に対する質問である。

【全体結果】

この1年間のスポーツに関する行ったボランティア活動を聞いたところ、「日常的・定期的に行った」の割合が44.5%、「イベント・大会で不定期に行った」の割合が46.9%となっている。

(3) この1年間のスポーツに関するボランティア活動の内容



「自身やお子様所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」が約6割

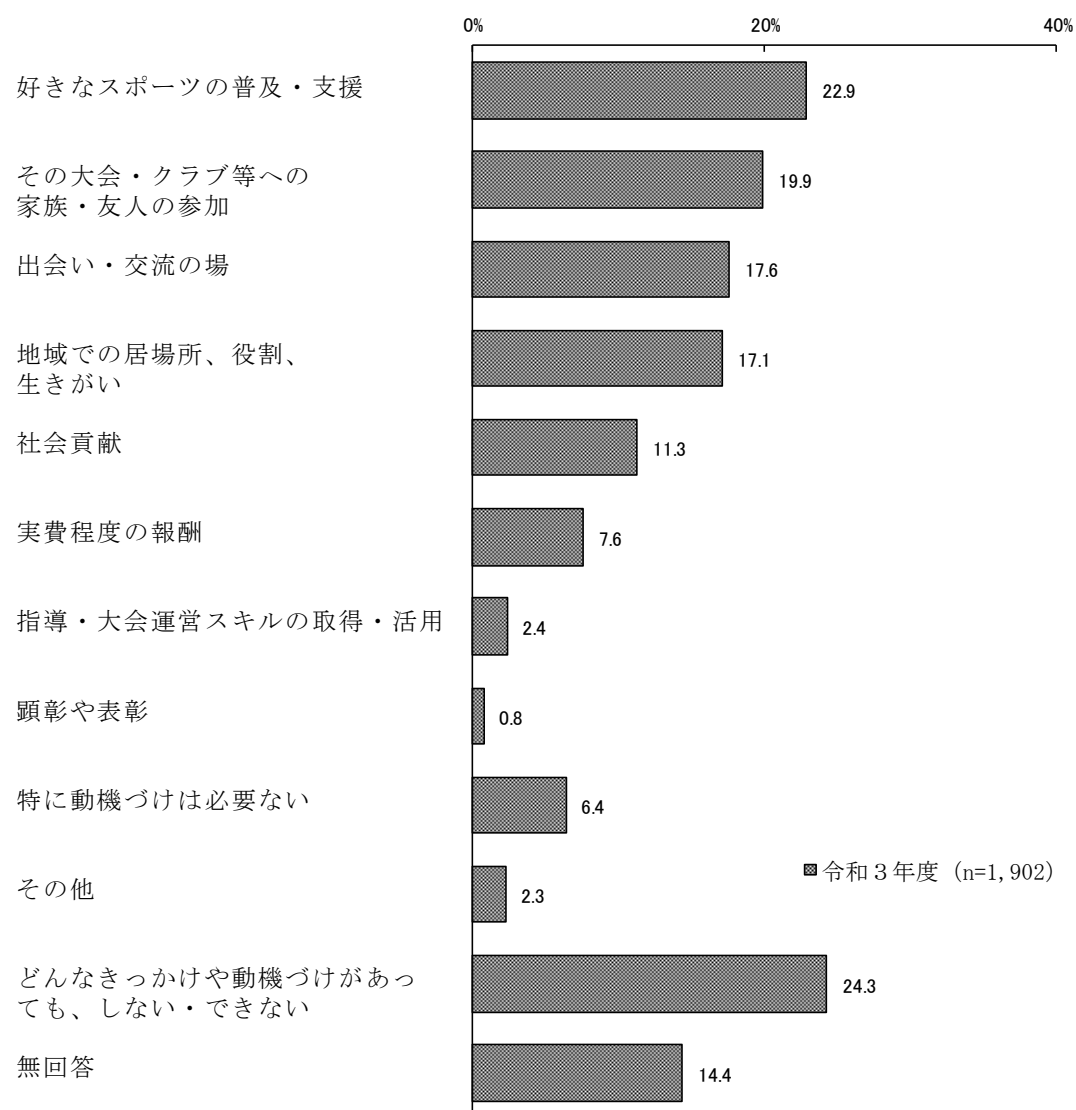
問15で、この1年間のスポーツに関するボランティア活動を「行った」と回答した128人に対する質問である。

【全体結果】

この1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動の内容を聞いたところ、「自身やお子様所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」の割合が60.9%で最も高く、以下、「大会・イベントの運営や世話」(28.1%)、「スポーツクラブ・団体の運営や世話」(22.7%)、「運動・スポーツの指導」(20.3%)と続いている。

(4) スポーツに関するボランティア活動を行うきっかけや動機づけ

問17 どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。（○はいくつでも）



「好きなスポーツの普及・支援」が2割強

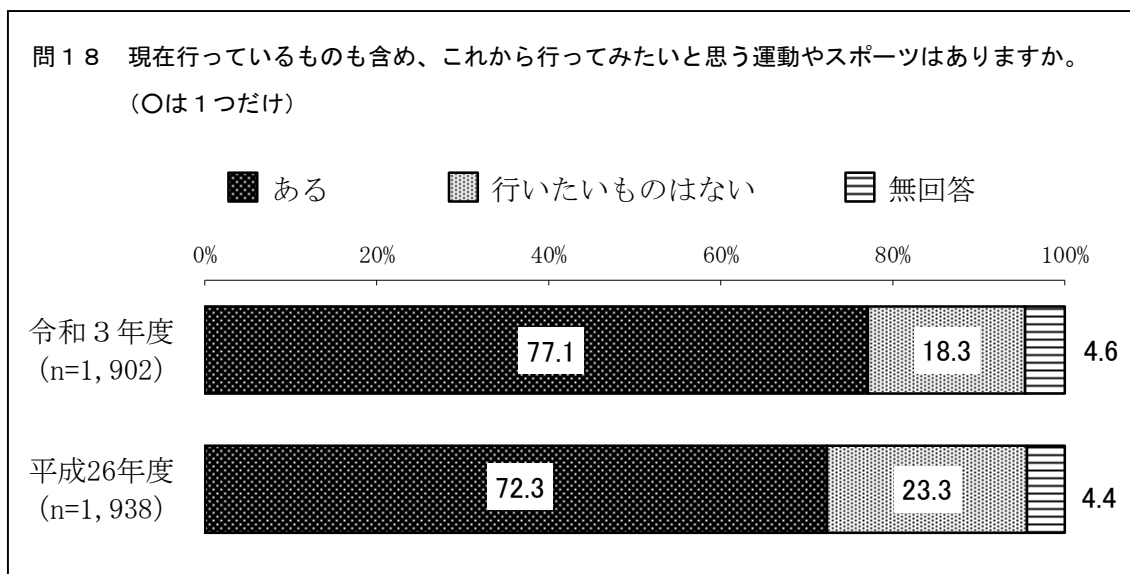
【全体結果】

どのようなきっかけや動機づけがあればスポーツに関するボランティア活動を行う（または続ける）かを聞いたところ、「好きなスポーツの普及・支援」の割合が22.9%で最も高く、以下、「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」（19.9%）、「出会い・交流の場」（17.6%）、「地域での居場所、役割、生きがい」（17.1%）が続いている。

一方、「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」の割合が24.3%となっている。

4. やってみたい運動やスポーツについて

(1) 今後行ってみたい運動やスポーツの有無



—— 7割強の人が行ってみたい運動やスポーツが「ある」と回答 ——

【全体結果】

今後、行ってみたい運動やスポーツがあるかについては、7割強の人が「ある」と回答している。

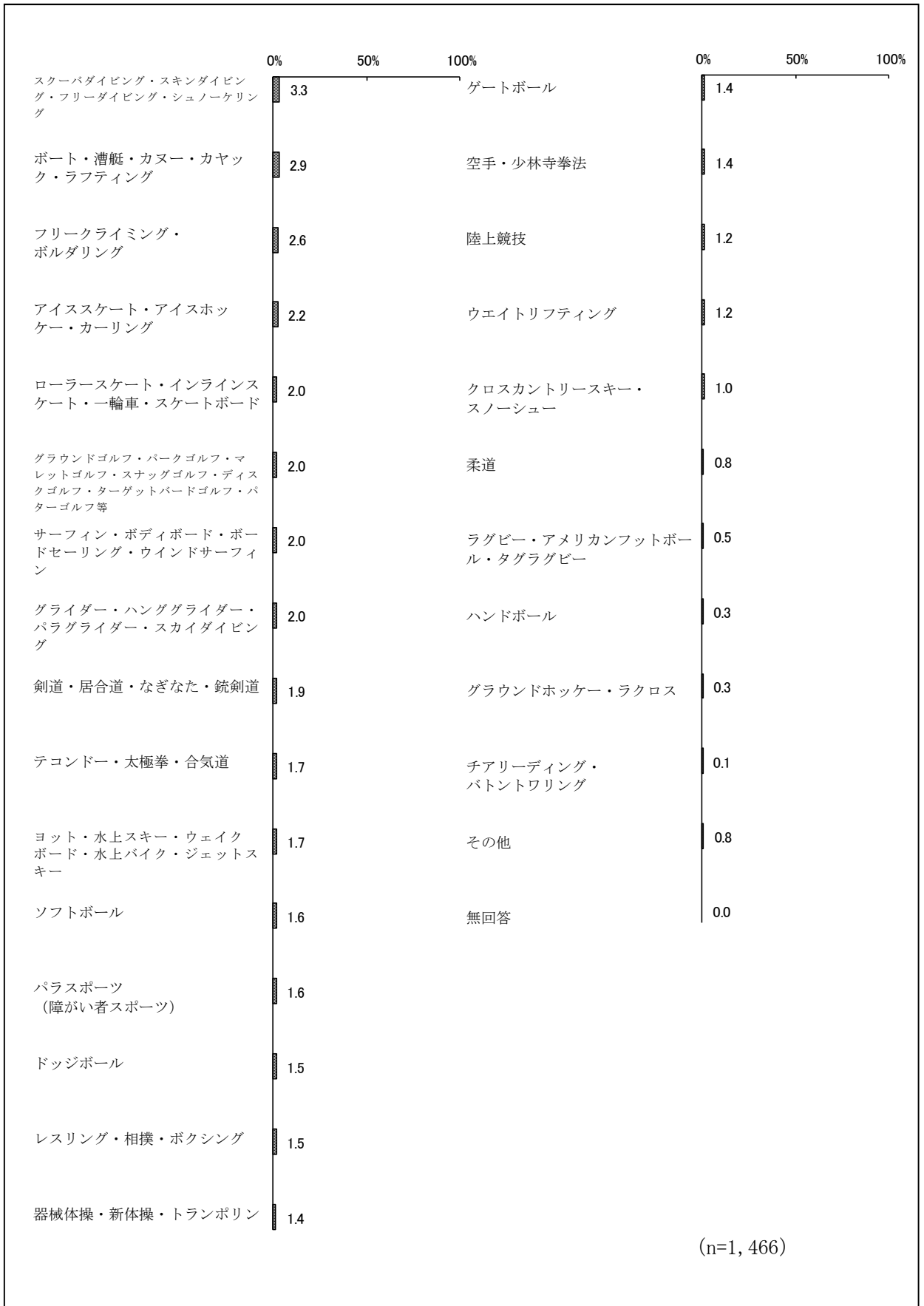
前回調査と比較すると、ほとんど差は見られない。

(2) 今後行ってみたい運動やスポーツ

(問18で「2 ある」と回答した方への該当質問)

問18-補問 行きたいスポーツに○をつけてください。(○はいくつでも)





——— 6割強が「ウォーキング」を行ってみたいと回答 ———

問18で、今後行いたい運動やスポーツが「ある」と回答した1,466人に対する質問である。

【全体結果】

今後、行ってみたい運動やスポーツについては、「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）」（62.8%）の割合が最も高くなっている。

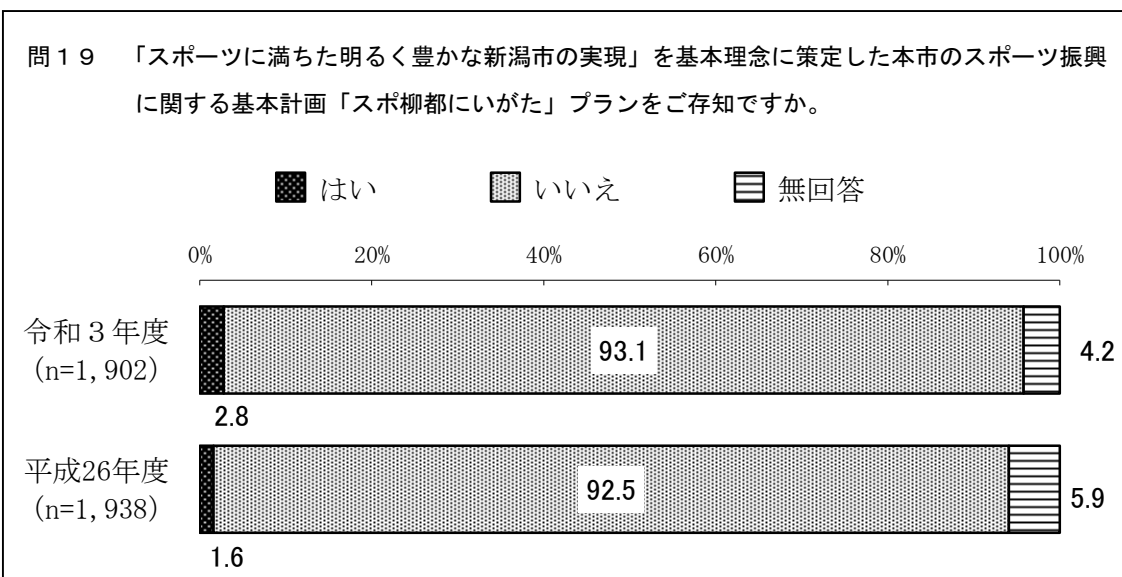
以下、「トレーニング（筋力トレーニング・トレッドミル（ランニングマシン）・室内運動器具を使ってする運動等）」（28.9%）、「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）」（21.8%）、「階段昇降（エレベーター・エスカレーターからの切り替え）」（19.8%）、「登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング」（18.7%）が続いている。

前回調査と今回調査では回答の選択肢が異なるため、表のみの掲載に留める。

順位	平成26年度項目	令和3年度項目	順位の変動
1位	ウォーキング（意識的に歩くようにしていること、散歩などを含む）	ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）	→
2位	軽い水泳	トレーニング（筋力トレーニング・トレッドミル（ランニングマシン）・室内運動器具を使ってする運動等）	↗
3位	体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）	体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操等）	→
4位	軽い球技（キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど）	階段昇降（エレベーター・エスカレーターからの切り替え）〈H26:その他、軽い運動やスポーツとの比較〉	↗
5位	室内運動器具を使ってする運動	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	↗
6位	サイクリング（自転車通勤や買物を含む）、モーター（サイクル）スポーツ	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス〈H26:その他、軽い運動やスポーツとの比較〉	↗
7位	スキー、スノーボード	ランニング（ジョギング）・マラソン・駅伝・トライアスロン	↗
8位	ランニング（ジョギング）	自転車（BMX含む）・サイクリング	↗
9位	登山（クライミング）	釣り	↗
10位	釣り	ボウリング	↗

5. 今後の新潟市のスポーツ振興について

(1) スポーツ振興に関する基本計画「スポ柳都にいがた」プランについて



「スポ柳都にいがた」プランの認知度は1割未満

【全体結果】

本市のスポーツ振興に関する基本計画「スポ柳都にいがた」プランについて、その認知度を問うてみた。9割強の人が「いいえ」(93.1%)と回答しており、「はい」はわずか(2.8%)に留まっている。

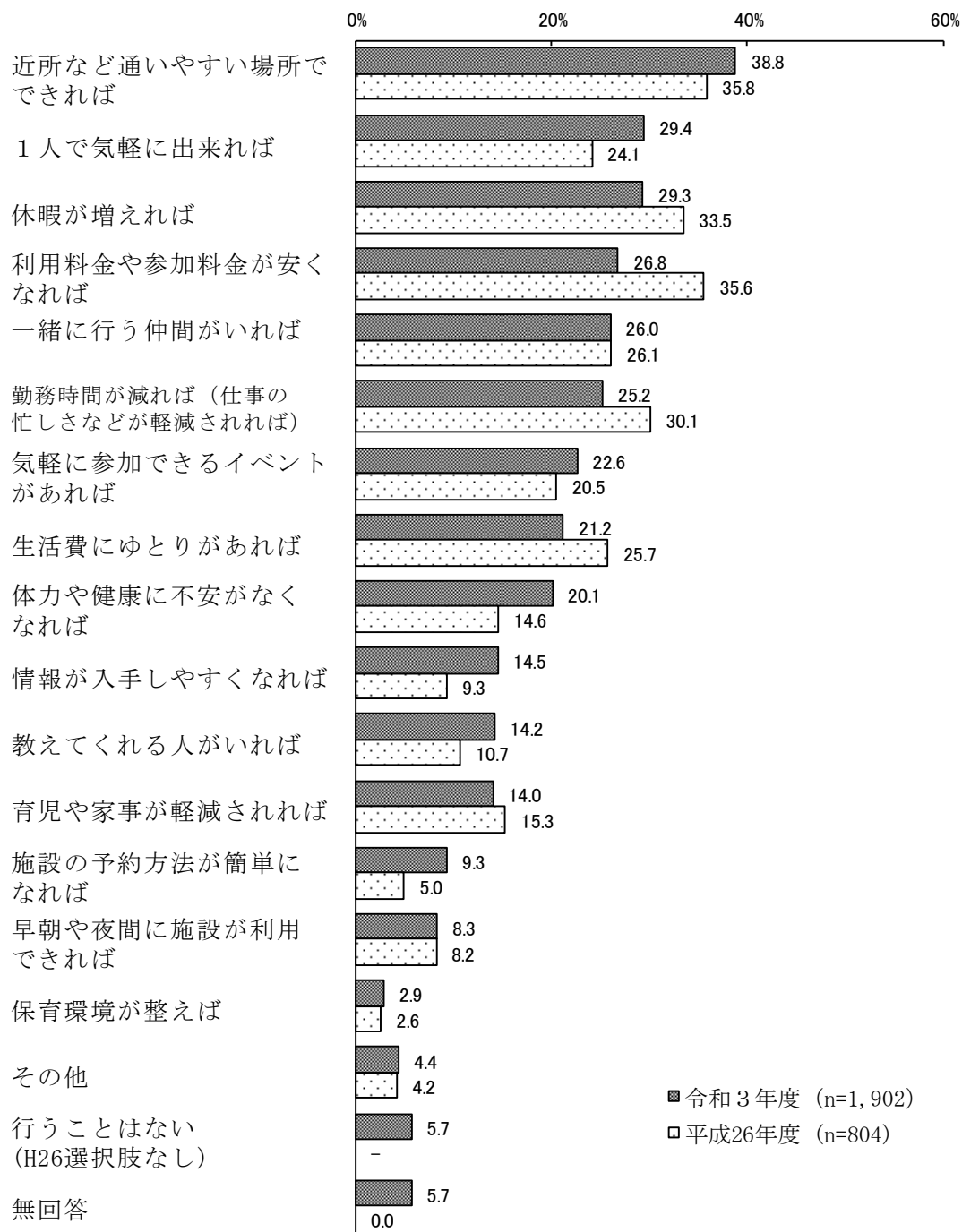
前回調査と比較すると、ほとんど差は見られない。

(2) 現在の頻度以上に運動やスポーツの実施に必要なこと

問20 現在の頻度以上に運動やスポーツを行うようになるには、どのような点が変われば、
行うと思いますか。(〇はいくつでも)

《H26: この一年間に運動やスポーツを「行った」と回答した人に対する質問である。

また、現在の頻度以上の運動やスポーツが必要であるかについて「はい」と回答した804人
に対する質問である。》



— 約4割が「近所など通いやすい場所であれば」現在の頻度以上に実施 —

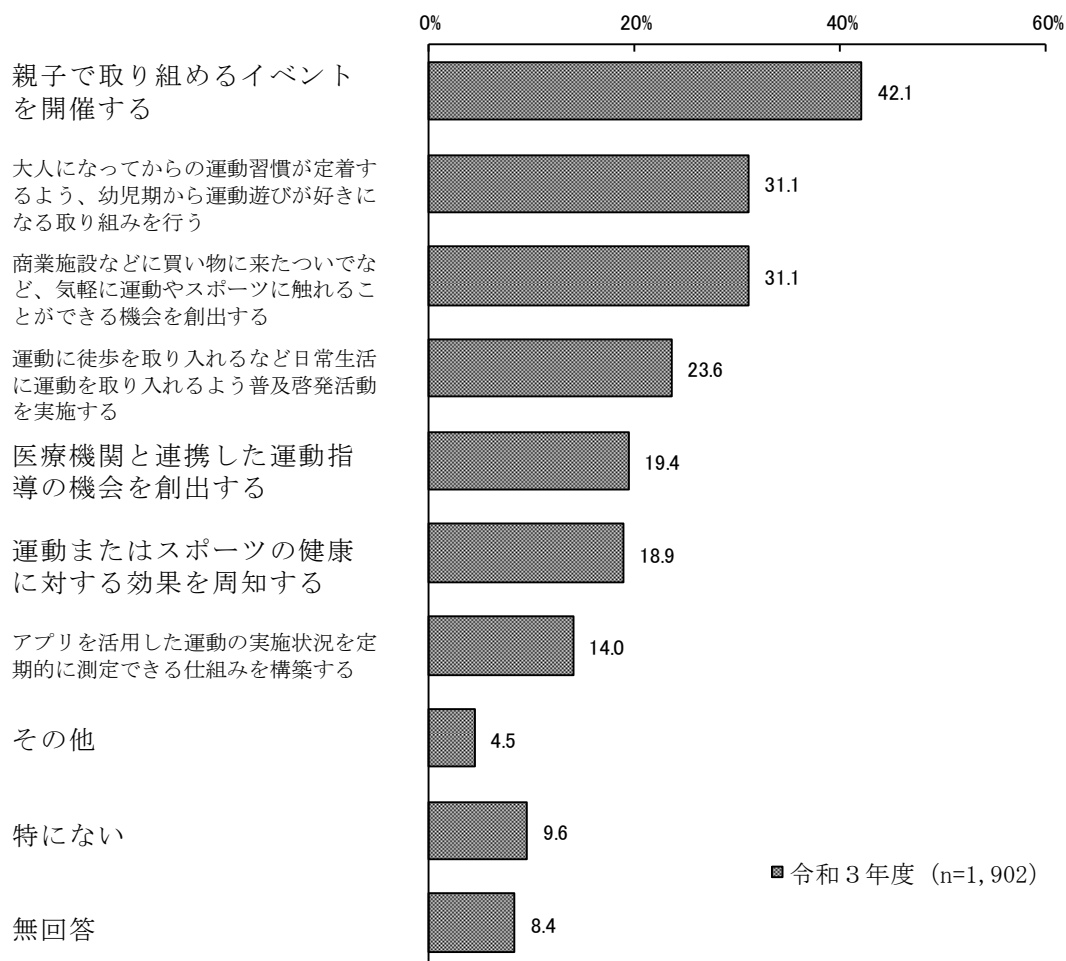
【全体結果】

現在の頻度以上に運動やスポーツを行うために必要なことについては、「近所など通いやすい場所でできれば」(38.8%)の割合が最も高く、以下、「1人で気軽に出来れば」(29.4%)、「休暇が増えれば」(29.3%)が続いている。

前回調査と比較すると、「1人で気軽に出来れば」、「体力や健康に不安がなくなれば」の割合が増加し、「利用料金や参加料金が安くなれば」、「勤務時間が減れば（仕事の忙しさなどが軽減されれば）」の割合が減少している。

(3) 働き盛り・子育て世代への運動やスポーツの機会づくり

問21 仕事や家事に忙しい働き盛り・子育て世代に運動やスポーツを親しんでもらうため、どのような取り組みが有効だと思いますか。(〇はいくつでも)



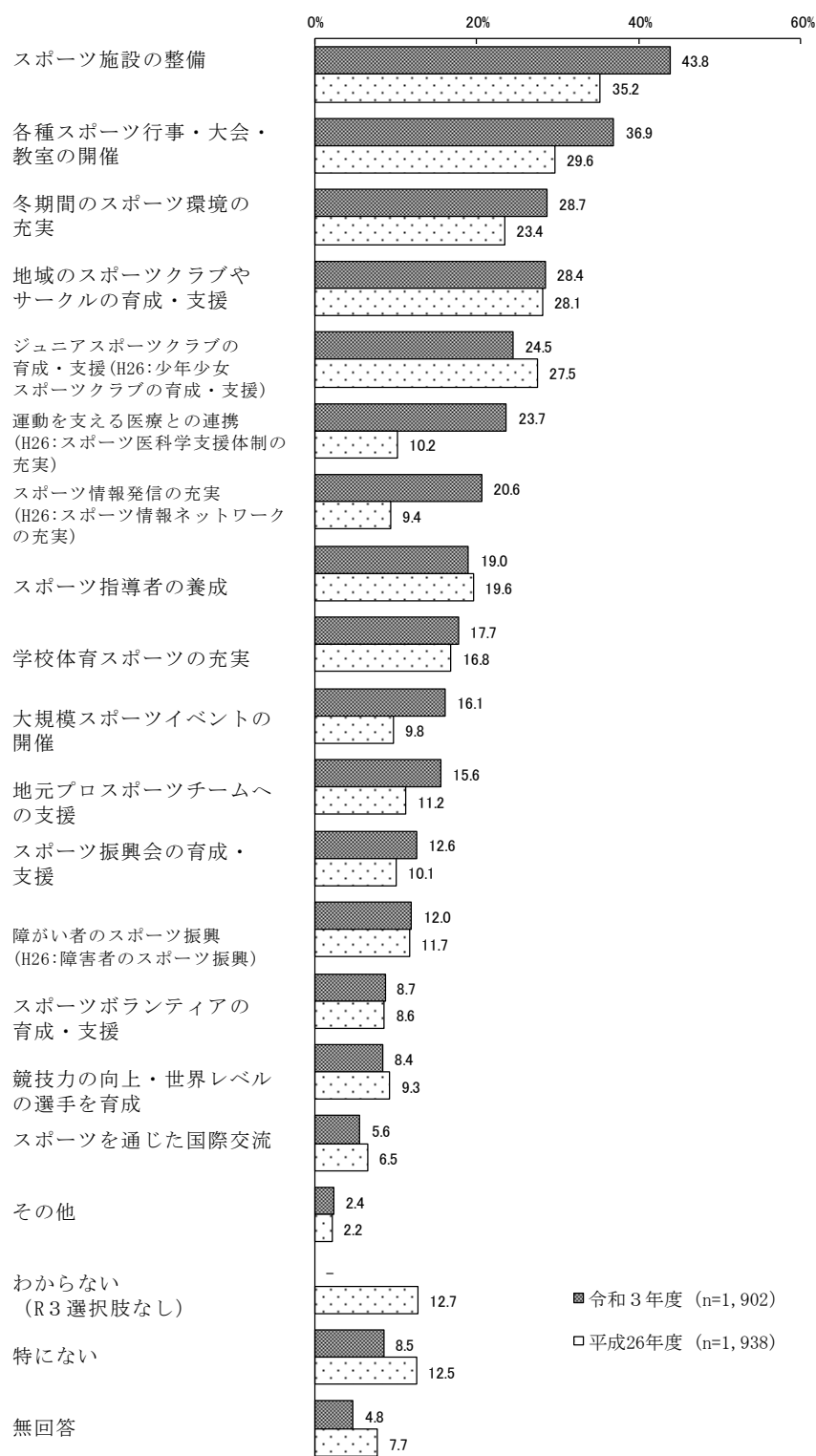
— 約4割が「親子で取り組めるイベントを開催する」が有効だと思う —

【全体結果】

働き盛り・子育て世代への運動やスポーツの機会づくりについては、「親子で取り組めるイベントを開催する」(42.1%)の割合が最も高く、以下、「大人になってからの運動習慣が定着するよう、幼児期から運動遊びが好きになる取り組みを行う」、「商業施設などに買い物に来たついでなど、気軽に運動やスポーツに触れることができる機会を創出する」(同率31.1%)が続いている。

(4) スポーツの普及・振興のために力を入れてほしいこと

問22 スポーツの普及・振興のため、今後、新潟市にどのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。(右枠内に番号をご記入下さい。5つまで)



力を入れてほしいことは「スポーツ施設の整備」が最も高い

【全体結果】

スポーツの普及・振興のために力を入れてほしいことについては、「スポーツ施設の整備」(43.8%)の割合が最も高く、以下、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」(36.9%)、「冬期間のスポーツ環境の充実」(28.7%)、「地域のスポーツクラブやサークルの育成・支援」(28.4%)、「ジュニアスポーツクラブの育成・支援」(24.5%)、「運動を支える医療との連携」(23.7%)、「スポーツ情報発信の充実」(20.6%)が続いている。

前回調査と比較すると、「運動を支える医療との連携」、「スポーツ情報発信の充実」の割合が1割以上増加し、「スポーツ施設の整備」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、「冬期間のスポーツ環境の充実」、「大規模スポーツイベントの開催」の割合も増加している。

(5) スポーツ振興に関する取組で期待すること

問23では、新潟市のスポーツ振興に関する取り組みについて期待することや、ご意見・ご要望の回答が419件寄せられた。

スポーツ振興に関する情報配信強化の要望や、運動施設の整備や交通機関の充実、プロスポーツ選手との交流イベントの開催を望む声や、高齢者の健康維持スポーツへの支援を望む声等、多種多様な意見が寄せられた。

令和3年度 スポーツに関する市民意識調査

発行 令和4年3月

調査主体 新潟市文化スポーツ部スポーツ振興課
新潟市中央区古町通7番町1010番地
古町ルフル5階
電話 025-226-2591

調査実施 株式会社 IT スクエア
新潟市中央区万代3丁目1番1号
電話 025-242-0633